

ひとつづくり委員会 事業計画

ひとつづくり委員会 委員長 栗原 卓矢

ネットサービスの発展は、人々の暮らしを豊かにする反面、対話や実体験を共有する場が減り、地域とのかかわりや家族関係が希薄化してきている今、対面での配慮と思いやりの心を育める気付きと学びの機会が求められています。デジタルは人にとって欠かせない存在ですが、それを踏まえ人とのリアルなかかわりを通して共感が生まれ当事者意識が芽生える環境の創出を地域社会全体で考え、次代を担う人財育成につなげる必要があります。

まずは、次代を担う子どもたちが、責任感と思いやりのあるリーダーとしての素質を養うために、子どもだけでなく大人も一緒に人とふれあい、会話や体験を通して様々な想いや地域の問題に共感することで、当事者意識を高め合い利他の精神をもって人とかかわることができます。そして、笑顔溢れるまちの未来を思い描き行動できる人財となるために、多世代交流を通して自ら考え、ルールを守り他者と協力する体験の場を提供することで、地域の一員として生きていくために必要な力や性質が身につき積極的に地域とのかかわりをもつことができます。さらに、地域を牽引する組織力を高めるために我々の活動意義を会員一人ひとりが、今一度原点に立ち返り目的意識を共感できる事業を開催することで、絆が深まり積極的に取り組む姿勢が強化され、より多くの会員がリーダーシップを発揮できます。また、我々の活動をより効果的かつ革新的にするために、多様性を尊重し広い視野をもった意見やアイデアを取り入れ、組織の強みに変える取り組みをすることで、将来を見据えて研鑽しあえる活発な会員が増え活動に参加する意識の向上につながります。

日常生活の中では学べない成長の機会を通して共感し合い当事者意識が高まった我々と市民一人ひとりが、地域を牽引するリーダーへと成長し更なる地域の発展を想い、人とのかかわりを絶やすことなく、未来の水戸を支える責任と思いやりに溢れた人財となります。

<事業計画>

1. 共感し合い、当事者意識を高める「第50回ちびっ子広場」の開催
2. 積極性を高める体験の場の提供
3. 目的意識を高め共感できる事業の開催
4. 多様性を尊重し組織の強みに変える意識改革